

ファイターズが求める選手像

時代とともにプロ野球選手に求められる理想像も変化しています。現代社会においては、プロ野球選手はグラウンドでプレイするだけでなく、様々な形で社会に貢献して共存していかなければならないとファイターズは考えます。

以下にファイターズが求める選手像を三つ掲げました。もちろん最も必要なのは1.Athlete(野球での成功)ですが、プロ野球選手として2.Fan Service 1st (ファンへの感謝)、3.Role Model(社会への貢献)を意識して欲しいと願っています。

そして、最終的な目標は「野球を通じて社会に貢献する、強い存在感を持つ人間」になってもらうことです。

1.Athlete(野球での成功)

- 競技者として最高のパフォーマンスを発揮し、そのための努力と自己管理を怠らない選手。
- プロとして生活の全てを野球に優先できるメンタリティの持ち主。
- 多くの知識と経験を有し、他者への影響を与えることができる人間。



2.Fan Service 1st(ファンへの感謝)

- ファンと選手は相互に支えあう、欠かせない関係であると理解できる人間。
- ファンに対し素直に感謝を表現できる選手。
- ファンと同じ目線に立てる人物。



3.Role Model(社会への貢献)

- 自分が「プロ野球選手」である前に「社会人」であることが理解できる人間。
- モラルとルールを遵守できる社会人。
- 社会の模範として積極的に貢献できる人物。



野球を通じて社会に貢献する、強い存在感を持つ人間

事業企画部

ファイターズの新しいビジネスモデルの検討、構築を積極的に行っております。
道内アマチュア野球組織との連携やファイターズOBとのマネジメント契約も締結しイベントを通じて地域社会の発展に貢献しています。
また、さまざまなデータを活用し、お客様満足度の向上、ファイターズのブランド価値の最大化を図っております。



稲葉SCOの講演会



さっぽろ雪まつり会場PRブース



新たな野球スタイルの提案

法人営業グループ

国内外の企業【団体】に対し「シーズンシート事業」「スポンサーシップ事業」をメインとした、パッケージセールス及びクロスセールスによる【BtoBビジネス】を積極的に展開しております。

常に市場状況やお客様ニーズと向き合い、ファイターズが持つアセットを活用し、お客様が抱える経営課題・マーケティング課題解決に繋がるようなご提案をしております。



ユニフォーム、ヘルメット広告



バックネット広告



シーズンシートの観戦イメージ



スポンサーデー



シーズンシートご案内パンフレット

ファンクラブグループ

地域に愛される球団として、より多くの方にファンクラブ会員になっていただくために、会員の入会システムの開発・運営や特典などの企画・開発、入会後や会員管理業務の様々なイベントの実施など、入会促進および継続管理を行います。シーズンオフも会員ならではの企画を実施するなど、常にファンの皆さまの声に耳を傾け、ファンクラブの運営に反映させることに努めております。



ファンクラブブース



ファイターズマガジン



会員募集リーフレット



ファンクラブ会員特典

チケットグループ

北海道日本ハムファイターズが主催する試合のチケット企画・販売・管理業務を担っており、お客様のニーズに合わせたチケットの商品設計から、販路拡大、プロモーションにも積極的に取り組んでいます。チケットのIT化も進めており、パソコン・スマートフォンでのチケット販売、QRコードを使用したスムーズな入場サービスも展開し、お客様の利便性向上に努めております。



ファイターズアプリ



QRでゲート入場

マーチャндаイジンググループ

オフィシャルグッズの企画・製作・販売を行っています。独自のマーチャндаイジングシステムを活用した販売網を確立し、オフィシャルオンラインサイトの運営なども担っています。

球団直営店舗としても札幌駅前の「ON-DECK (オン・デッキ)」、福住駅からすぐの「CLUBHOUSE (クラブハウス)」の2店舗を運営しています。また、食料品や日用品を中心に幅広くライセンス事業も展開し、ファイターズを身近に感じられる商品展開をしております。



オフィシャルショップ「ON-DECK」



オフィシャルショップ「CLUBHOUSE」



オンラインストア

コンテンツメディアグループ

ハイビジョン対応の中継車により主催試合映像を制作し、テレビをはじめ各メディアに配信しています。

また主催試合での場内演出、CMやポスターなどの制作、WEBサイト、SNSやフリーペーパーによる情報発信などのプロモーション全般を管轄し、お客様と球団をつなぐ幅広い業務を行っております。



試合映像を中継するスタッフ



球場内大型ビジョン



球団ホームページ

試合運営グループ

主催試合をはじめ球場内外で行われるセレモニーやイベントの企画・運営・管理など皆さまに夢と感動をお届けしております。
また、お客様満足向上のため場内スタッフの管理・指導も行っております。



花束・記念品贈呈



ヒーローインタビュー



キッズスターター



義援金募金活動



ファイターズガールズ&マスコットダンス



ファミリーデー

お客様センター

「Fan Service 1st」を実現するため、お客様から電話やメールで頂く、ご質問・ご意見に迅速かつ丁寧にお応えしております。
「お客様の声」を幅広く収集し、球団経営やサービス改善に反映していくことでファンの皆さま、お客様の満足向上に努めてまいります。
2016年、国内プロスポーツ球団では初めて、電話対応サービスに関する国際格付調査において「三ツ星」を獲得いたしました。



HDI-Japan
格付け調査 問い合わせ窓口部門
2016年度「三ツ星」獲得

コミュニティグループ

北海道に根ざす球団として企業理念である「Sports Community」の実現に向けファンに愛され、地域から必要とされる球団を目指し、地域の後援会や諸団体と連携し、真の道民球団を目指し、ファン拡大と地域密着を推進しております。



<後援会>

ファイターズの応援を通じて、地域・職場・家族等での交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。地域のスポーツ振興にも取り組み、地域の皆さまに親しまれる「道民球団」を創り上げていきます。



<小学校訪問>

地域貢献活動の一環で将来を担う子供たちに夢や目標に向かって取り組む大切さを伝える活動を行っております。



<スマイルキャラバン>

北海道内の市町村を訪問して、イベント広場や地元の味覚を味わえるブースを実施。ファイターズを通じて地域コミュニティづくりのお手伝いをさせていただいております。

アカデミーグループ

向上心・自助・考察・真心の理念のもと「Sports Community」の実現に向け、様々な活動を行っております。

<ベースボールアカデミー>

夢を実現した元プロ野球選手が講師となり、野球技術をはじめ夢を持った挑戦、一生懸命取り組む姿勢、感謝の気持ちの大切さなど経験をもとに子供たちに伝えています。ひとりでも多くの子供たちが夢に向かって挑戦してくれる事を願っております。



<ダンスアカデミー>

ダンスを通じて、子供たちの夢を育て、地域の皆さまの健康をはぐくむためのお手伝いができるよう、未就学児から大人まで、幅広い層の方々へ向けたクラスを開講しております。



首都圏事業部

千葉県鎌ケ谷市にあるファイターズ鎌ケ谷スタジアムの管理・運営、東京ドームの主催試合開催にかかる業務を行っております。
 イースタンリーグ有数の集客数を誇るファイターズ鎌ケ谷スタジアムでは、日本野球界で初めて米国製メジャー式(ダクトロニクス社)の大型ビジョンを導入するなど夢と希望が溢れるボールパークを目指しております。



ファイターズ鎌ケ谷スタジアム



内野スタンド



大型ビジョン

<東京ドームの主催試合開催>

首都圏事業部が運営を担当、『チケット企画・販売』『スポンサーセールス』『イベント運営』などを実施しております。

日本ハムファイターズは1974年から2003年まで30年もの間、東京をフランチャイズとして親しまれました。

北海道日本ハムファイターズ誕生以降も東京ドームで主催試合を開催しファンの皆さまより、ご声援をいただいております。



広報部

メディア対応やニュースリリースの配信、記者会見などを通じてタイムリーに情報発信し、チーム・選手の魅力を広くお知らせします。
また、広聴機能を働かせて社外情報を積極的に受信し、ファイターズを取り巻く社会の動向、変化を把握しております。
社内各グループと連携しながらSC活動の推進や選手の社会貢献活動をサポートし、365日ファイターズの話題があふれる日常を創造しております。



入団会見の演出



選手の社会貢献活動の支援



チーム情報の発信

総務人事グループ

働きやすい職場環境の整備や各部署との連携のほか、人事計画案作成、採用に関する窓口・人材育成・社員研修の実施など業務内容は多岐にわたります。

また、激励会・球団納会など定期行事の調整や取りまとめを行い社内業務の円滑化に努めております。



リフレッシュルーム



激励会などの行事



採用説明会

IT管理グループ

IT統括管理部門として、球団の経営戦略に基づきIT活用戦略の方針策定やネットワークの管理・運用、情報システムセキュリティ対策、システム機器の調達・管理、IT運用・保守の立案と推進などを行っております。



TV 会議システム

ITシステム支援

経理財務グループ

会社決算を会社法・税法を遵守して、月次／四半期／期末決算処理業務に携わっております。社内各グループへの税務面、会計面から見た処理方法の支援も推進しながら全社の入出金管理と資金繰りを把握し効率的な運用に努めております。



バックオフィスセンター

社内における経理処理全般の各種サポート業務を実施しています。各グループの売上計上処理・請求書発行・入出金管理業務など日々の社内業務が円滑に行われるよう心掛けております。



FACILITIES

施設案内

01

本拠地／札幌ドーム



ファイターズの本拠地「札幌ドーム」は、世界初の屋外から屋内へ移動する天然芝サッカー場など、最新鋭の技術を結集した施設。



- フィールド／人工芝：両翼100m、センター122m
- 住所／札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
- 交通／地下鉄東豊線「福住駅」下車徒歩約10分

札幌屋内練習場・合宿所



外観がひと際目をひく屋内練習場

＜札幌屋内練習場＞

- 施設／ネット間50m×50m 人工芝 投球練習場4ヶ所(黒土)
- 高さ／20m
- 暖房設備／外気温-10℃で室内温度は+8℃～+10℃



高さ6.5mの天井と壁一面の窓が開放的な合宿所のラウンジ

＜札幌合宿所＞

- 施設／11畳の全個室30室、選手用ロッカー40個、監督・コーチ室、ラウンジ、食堂、浴室、サウナ
- 階数／地上3階
- 住所／札幌市東区北5条東8丁目2
- 交通／バス：(環88)ファクトリー線「サッポロビール園前」下車

FACILITIES

施設案内

02

ファーム／ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム



ネット裏だけでも2,300人収容の鎌ヶ谷スタジアム。



<ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム>

■住所 千葉県鎌ヶ谷市中沢459

■グラウンド 両翼100m、
センター122m

■ネット裏席 2,286席

■交通

◎電車<鎌ヶ谷駅>東京(総武線快速)→船橋(東武アーバンパークライン)→鎌ヶ谷→タクシーor徒歩

<JR市川大野>西船橋(JR武蔵野線)→市川大野駅→タクシー

◎シャトルバス<鎌ヶ谷駅東口ロータリーより>公式戦開催日のみ運行

<新鎌ヶ谷駅ロータリーより>試合が開催される土・日・祝日

◎路線バス(京成バス)<JR西船橋駅北口3番線乗り場より>

<JR船橋法典駅より>



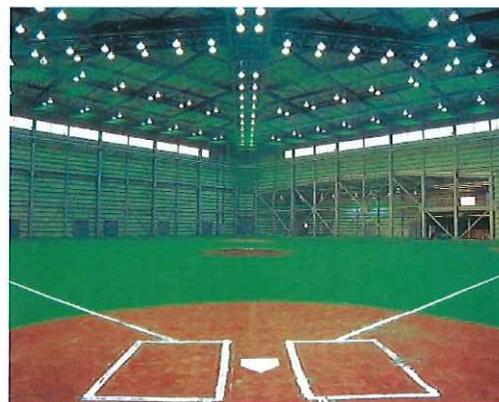
<合宿所／勇翔寮>

■施設 48室(冷暖房完備)食堂、
ロッカー室、サウナ付浴室

■階数 地上5階



各種マシン完備のトレーニングルーム



<鎌ヶ谷屋内練習場>

■施設 56m×56mは国内最大級の屋内練習場(人工芝、投球練習場)

■高さ22.10m(有効高さ16m)

OUR HISTORY

ファイターズの歩み

01

ファイターズ年譜

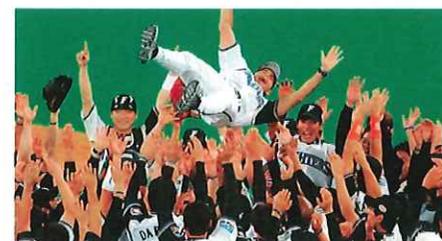
- 1946年 『セネターズ』設立。
- 1947年 東急フライヤーズ誕生。
- 1948年 急映フライヤーズ誕生。
- 1949年 東急フライヤーズ誕生。
- 1954年 東映フライヤーズ誕生。
- 1962年 球団創立以来の初優勝・日本シリーズ初制覇。
- 1973年 日拓ホーム・フライヤーズ誕生。
- 1973年 日拓ホーム野球(株)の経営を日本ハム(株)が譲り受け(11月)日本ハムファイターズ誕生。
- 1974年 日本ハム・ファイターズとしてシーズンをスタート。
- 1975年 ニューヨーク・ヤンキースとの業務提携契約締結。
- 1979年 沖縄県名護市にてプロ野球チームとして初めて投手部門の春季キャンプを行う。
- 1981年 大沢啓二監督の下、パ・リーグ後期優勝。
プレーオフでロッテを破り19年ぶり2度目のリーグ優勝。
- 1982年 2年連続のパ・リーグ後期優勝。
- 1984年 千葉県鴨川市で秋季キャンプを開始。
- 1986年 高田繁監督の下、アメリカ・フロリダにて春季キャンプを行う(1986~87年)。
- 1988年 東京ドーム完成に伴い、同球場をフランチャイズ球場とする。
- 1997年 千葉県鎌ヶ谷市に『日本ハムファイターズタウン鎌ヶ谷』竣工。
- 2002年 アリゾナ・ダイヤモンドバックスと業務提携契約を締結。
北海道フランチャイズ移転承認。札幌移転準備室開設。
- 2004年 北海道日本ハムファイターズ誕生。
“New Home セレモニー”では予想をはるかに超える北海道のファンが雪の中出迎えた。パ・リーグではプレーオフ制度がスタート。
- 2005年 初めて導入された「セ・パ交流戦」。これまで公式戦では観ることのなかった対戦カードが実現。ファン拡大にもつながり、継続されることとなった。
北海道に本拠地を移転し、3年目にして劇的な優勝を飾る。



2度目のリーグ優勝(1981年)



大勢のファンに迎えられた



44年ぶりの日本一(2006年)



「優勝パレード」札幌市大通公園(2006年)

OUR HISTORY

ファイターズの歩み

02

- 2006年 25年ぶりのリーグ制覇、44年ぶりの日本一、アジアシリーズ優勝と完璧に締めくくる。優勝パレードには約15万人のファンがあふれた。
- 2007年 パ・リーグ連覇！クライマックスシリーズでは3勝2敗で日本シリーズへの切符を手にした。日本シリーズは中日ドラゴンズと対戦1勝4敗と惜しくも日本一を逃した。
- 2008年 リーグ3連覇を目指してスタートした2008年。最終戦でクライマックス進出を決めたものの3年連続の日本シリーズは逃した。
- 2009年 故・大社義規前オーナーが野球殿堂入りを果たす。誰よりも野球を愛し、ファンを愛し、チームの勝利を願い続けた前オーナーに最高の賛辞が届いた。チームはパ・リーグ優勝。日本シリーズは読売ジャイアンツと対戦。2勝4敗と惜しくも日本一を逃した。
- 2010年 開幕から前半戦の試合まではやや低迷したものの、セ・パ交流戦明けから本来の戦いを取り戻し、最終的には貯金7でシーズンを終えたものの、千葉ロッテマリーンズに0.5ゲーム及ばず5年ぶりにBクラス(4位)に陥落した。
- 2011年 開幕前に東日本大震災が発生し、開幕が延期。プロ野球全体が、復興支援を行いながら野球の力を見せようと、現実と向き合った。中田翔選手のレギュラー定着や斎藤佑樹選手の入団など、次代を担う年代の台頭が光った。
- 2012年 栗山新監督率いる新生ファイターズは3年ぶり6度目のリーグ優勝を果たし、クライマックスシリーズも制覇。日本シリーズ(対読売ジャイアンツ)に臨むも2勝4敗で力尽きる。札幌中心部で行われた優勝パレードには約10万人が沿道を埋め尽くした。また、ドラフト1位指名の大谷選手の入団が決まり、二刀流への道を歩むことで注目を一身に集めた。
- 2013年 沖縄キャンプから戻った選手たちが直行了したのは、JR札幌駅前で行われた「10th SEASON HOME CEREMONY」。冷たい雪と強風という悪天候の中、集まったファンから贈られた熱い声援に連覇を誓う。しかしながら、2001年以来12年ぶりの最下位でシーズンは終了した。
- 2014年 開幕戦を12回サヨナラ勝ちという熱戦でスタートし、最後まで諦めないファイターズ野球を印象付けた。大谷選手が日本プロ野球史上初の二桁勝利&二桁本塁打を達成するなど二刀流2年目の成長を実証した。シーズン3位でクライマックスシリーズに出場(対福岡ソフトバンクホークス)、第3戦延長10回に中田選手の決勝弾でファイナルステージ進出を決めたが、最終第6戦で敗れ、日本シリーズ出場を逃した。



パ・リーグ連覇を果たし2年連続の優勝パレード(2007年)



初代オーナーが「野球殿堂入り」背番号100を永久欠番とした(2009年)



2年ぶりのパ・リーグ優勝セレモニーをファンの皆様とともに(2009年)



3年ぶりのパ・リーグ優勝(2012年)

OUR HISTORY

ファイターズの歩み

03

2015年 シーズン成績は79勝と、まずまずの成績を残したが、福岡ソフトバンクホークスの90勝という圧倒的な強さの前に優勝を逃し2位となる。クライマックスシリーズで日本一への望みをかけるも1stステージで敗退。しかしながら、大谷投手が最多勝利、最優秀防御率、勝率第一位の3冠を達成。本シーズンは若手選手が大きく飛躍した一年でもあった。

2016年 10年ぶりの日本シリーズ制覇を果たした2016年。シーズン序盤は苦しい展開が続き、一時は首位とのゲーム差が最大で11.5に広がりながら、球団記録を上回る15連勝を達成するなど驚異の追い上げをみせ、4年ぶり7度目のリーグ優勝を決めた。2004年の北海道日本ハムファイターズ誕生から『ホーム500勝』という節目を迎えたのも今シーズン。また、常に注目を集める大谷選手が日本プロ野球史上初となる「1番・投手 先頭打者ホームラン」を放ち、投手ではクライマックスシリーズ・ファイナルステージで日本最速「165km/h」を記録。まさに記憶と記録をすべて塗り替えたシーズンとなった。



北海道誕生10年目を記念して行われた「10th SEASON HOME CEREMONY」(2013年)



ファイターズ初代オーナー大社義規 生誕100周年記念(2015年)



10年ぶりの日本シリーズ制覇(2016年)



「優勝パレード」札幌市駅前通り(2016年)

パ・リーグ観客動員数

球 団	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
北海道日本ハムファイターズ	1,365,643	1,603,541	1,833,054	1,873,931	1,992,172	1,945,944	1,990,338	1,858,524	1,855,655	1,897,789	1,959,943	2,078,981
福岡ソフトバンクホークス	2,115,977	2,037,556	2,307,160	2,250,044	2,245,969	2,164,430	2,293,899	2,447,501	2,408,993	2,468,442	2,535,877	2,492,983
オリックス・バファローズ	1,356,156	1,390,231	1,137,186	1,266,765	1,285,907	1,443,559	1,400,961	1,239,168	1,438,467	1,703,734	1,767,220	1,794,475
埼玉西武ライオンズ	1,103,148	1,196,574	1,093,471	1,413,583	1,515,045	1,591,303	1,591,651	1,330,676	1,600,841	1,498,365	1,616,827	1,618,194
東北楽天ゴールデンイーグルス	977,104	951,723	1,117,369	1,149,061	1,203,169	1,141,640	1,168,188	1,177,793	1,281,087	1,450,233	1,524,149	1,620,961
千葉ロッテマリーンズ	1,334,014	1,349,656	1,558,430	1,601,632	1,465,189	1,546,105	1,332,815	1,526,028	1,260,439	1,223,915	1,322,004	1,526,932
合 計	8,252,042	8,529,281	9,046,670	9,555,016	9,707,451	9,832,991	9,777,852	9,579,690	9,845,482	10,242,478	10,726,020	11,132,526

歴代監督(○はリーグ優勝回数)

横沢 三郎	1946	水原 茂①	1961~67	大沢 啓二①	1976~83、	大島 康徳	2000~02
刈田 久徳	1947~48	大下 弘	1968		1984,93~94	T・ヒルマン②	2003~2007
井野川利春	1949,52~54	松木謙治郎	1969~70	植村 義信	1984	梨田 昌孝①	2008~2011
安藤 忍	1950~51	田宮謙次郎	1970~73	高田 繁	1985~88	栗山 英樹②	2012~
保井 浩一	1955,60	土橋 正幸	1973,92	近藤 貞雄	1989~91		
岩本 義行	1956~60	中西 太	1974~75	上田 利治	1995~99		



HOKKAIDO
PRIDE



北海道の誇りを胸に

勝利への一本道。

ファイターズは、迷わない。

すべての北海道民と想いをひとつに、

この青い空のように気高く

この豊かな大地のように力強く…。

北海道の誇りを胸に、

突き進む勝利への一本道。

道は拓けた。

視界は澄みきっている。

HOKKAIDO PRIDE



北海道の誇りを胸に

株式会社 北海道日本ハムファイターズ
〒062-8655 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL.011-857-3939
<http://www.fighters.co.jp/>

北海道日本ハムファイターズとシーニックバイウェイ北海道との包括連携協定

この協定は、北海道日本ハムファイターズとシーニックバイウェイ北海道、双方の持つ資源を有効活用した連携活動による『競争力のある美しく個性的な北海道』の実現を目的としています。



北海道日本ハムファイターズ

- 北海道における地域に根ざした球団の運営・活動・チームづくり
- 持てる資源やノウハウを活用し次世代を担う青少年の育成、健やかな社会の実現のため「スポーツコミュニティ活動」の推進
- 日本プロ野球球団としての情報発信力



シーニックバイウェイ北海道

- 景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活用した取組
- 地域の住民、NPO、企業、行政等多様な主体が一体となった体制
- 全国的なネットワーク（日本風景街道）
- 官民による協議会及び学識者により組織されるルート審査委員会

連携・協働による
資源の有効活用

【連携協定の項目】

- シーニックバイウェイ北海道による地域活性化に関する取組
- シーニックバイウェイ北海道の広報・啓発に関わる取組
- その他、シーニックバイウェイ北海道の推進に関わる取組

競争力のある美しく個性的な北海道

HOKKAIDO be AMBITIOUSシリーズ：シーニックバイウェイパネル展（これまでの実績）

北海道日本ハムファイターズ「北海道シリーズ2017 HOKKAIDO be AMBITIOUS」期間中の8月17日、千葉ロッテマリーンズ戦（札幌ドーム）にて、昨年8月に道内全域に大きな被害を及ぼした平成28年北海道豪雨災害の復旧応援及び今後の北海道開発局と北海道日本ハムファイターズとの連携に向けたセレモニーにあわせ、球場内にてシーニックバイウェイ北海道パネル展を開催。



【沿線マスコットの参加】
左から日高町：クルミちゃん、新得町：しんとくレンジャー、占冠村：しむかっぴー、清水町：うっちゃん（シーニックバイウェイとの連携）

▲シーニックバイウェイパネル展状況

▶ドライブ情報誌やパンフレットによるPRも実施

